

手をつなぐ育成会連合会への調査結果の報告 2017年2月20日（現在）

公共図書館についての知的障害者や家族への調査 —利用の実態とニーズ、図書について—

藤澤和子（大和大学保健医療学部）

1. 目的

今年の4月から障害者差別解消法が施行され、公共図書館においても、障害のある人への配慮あるサービスが求められている。しかし、知的障害のある人へのサービスは、今までは残念ながらほとんど行われてこなかった。今後、知的障害のある人たちの公共図書館の利用を進めていくためには、ご本人たちが図書館でどのようなサービスをしてほしいと思っているのか、また今まで図書館をどのように利用していたのかということ等を、明らかにすることが重要だと考える。

そこで、今回、文部科学省の科学研究費の助成事業として、知的障害のあるご本人（あるいはご家族）に、公共図書館への要求と利用実態、図書についてのアンケート調査を実施し、図書館や障害者福祉、教育に関わる人たちに、その結果を公表することにより、公共図書館における知的障害者への合理的配慮を進める一助とする。

2. 調査

（1）対象者

全国手をつなぐ育成会連合会に所属する知的障害者とご家族で、調査協力が得られた人を対象とした。調査の目的と方法、個人を特定する結果や情報は公表しないことを伝えた。

（2）手続き

調査の目的や方法を説明する文書と、当事者向けにわかりやすく書かれた質問紙調査1100通を、全国手をつなぐ育成会連合会全国支部55か所に郵送した。調査期間は2016年9月～11月、本人、あるいは家族や支援者が本人に聞きとって記入する等による回答を依頼した。結果に表示した調査の（3）～（6）は、複数回答可の選択回答とした。

3. 結果

616件の回答、回収率は56.0%であった。無効回答が12件あったので、604件の有効回答で結果を集計した。（数字は人数）

（1）対象者の基本属性

年齢

年齢	0-9歳	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	無記入	計
人数	8	70	158	151	127	48	16	2	24	604

性別 男性 391 女性 196 無記入 17
 療育手帳 A 274 B (B1、B2、B) 269 その他 11 無記入 50
 記入者 本人 211 本人へ聞き取り、家族や支援者が記入 276
 家族や支援者の記入 77 無記入 40

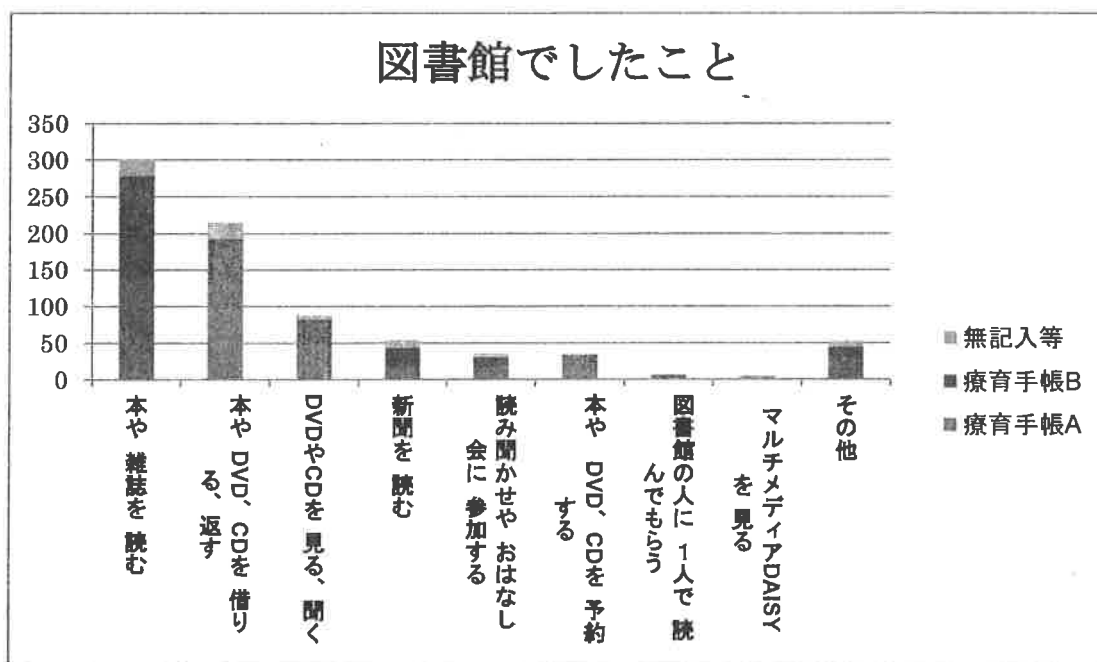
(2) 公共図書館の利用経験
 ある 428 ない 176

利用経験のある人を対象に

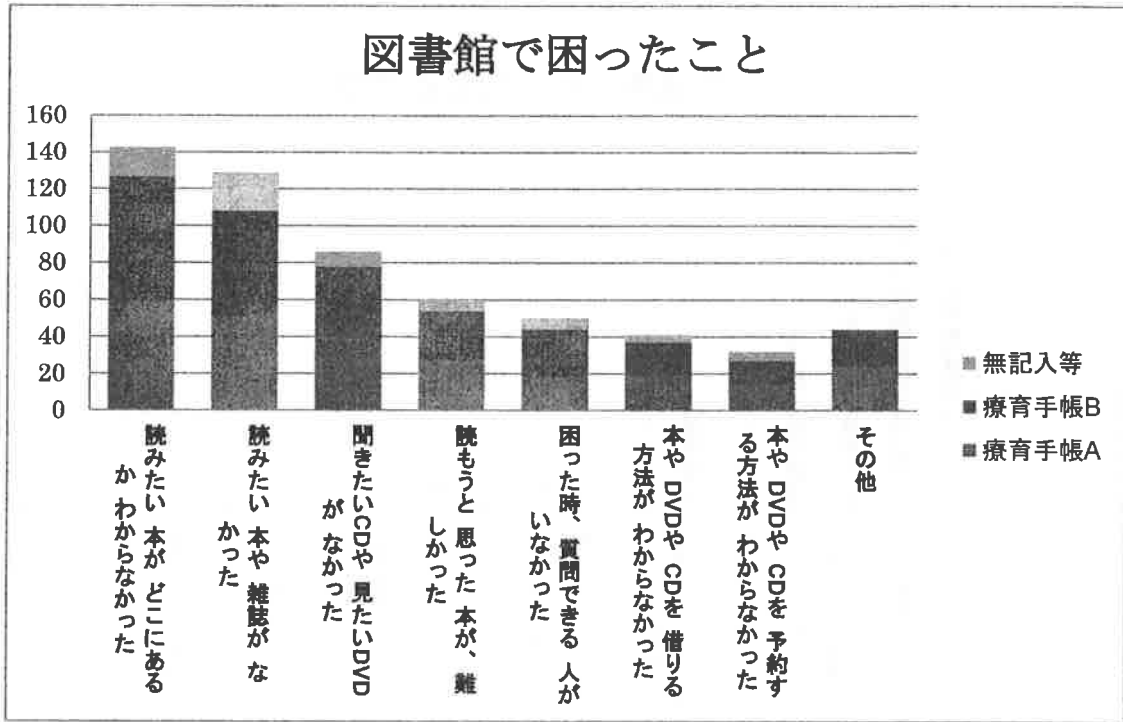
(3) 27年8月～28年7月に行った回数

回数	人数
ほぼ毎日	9
週に1～3	48
月に1～3	129
月に1/2	2
年に4～8	2
年に1～3	150
年に0	79
不明	9

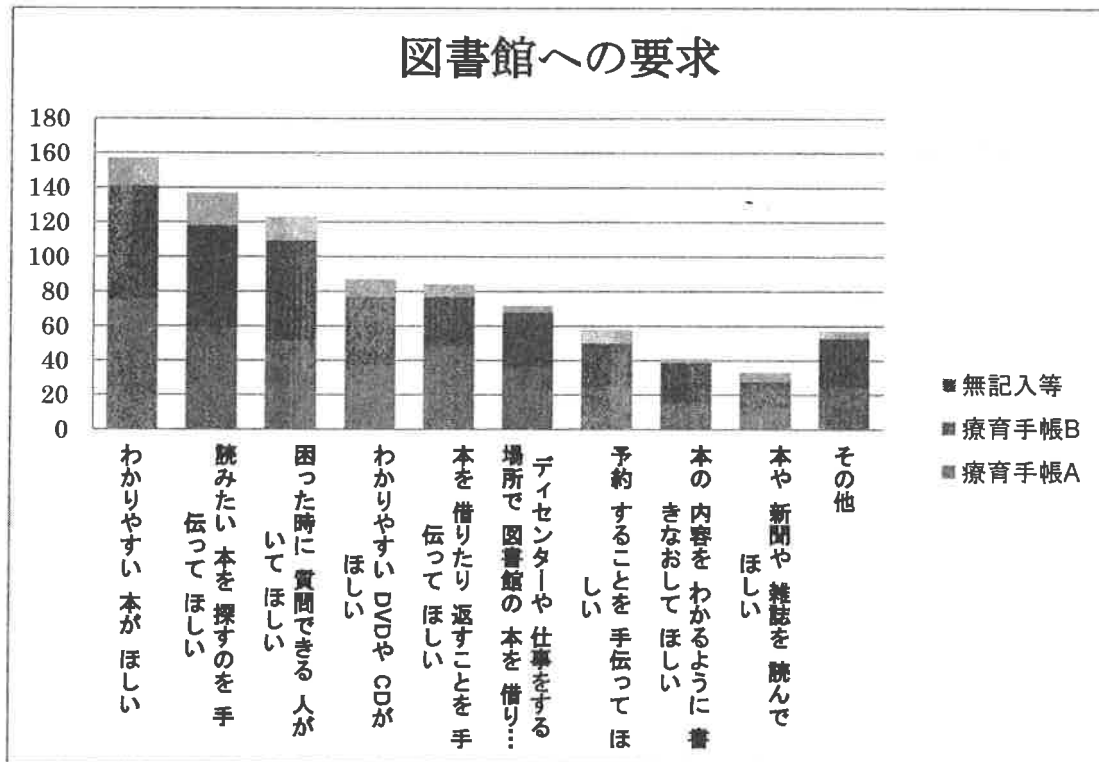
(4) 図書館でしたこと (複数回答可)



(5) 図書館で困ったこと (複数回答可)

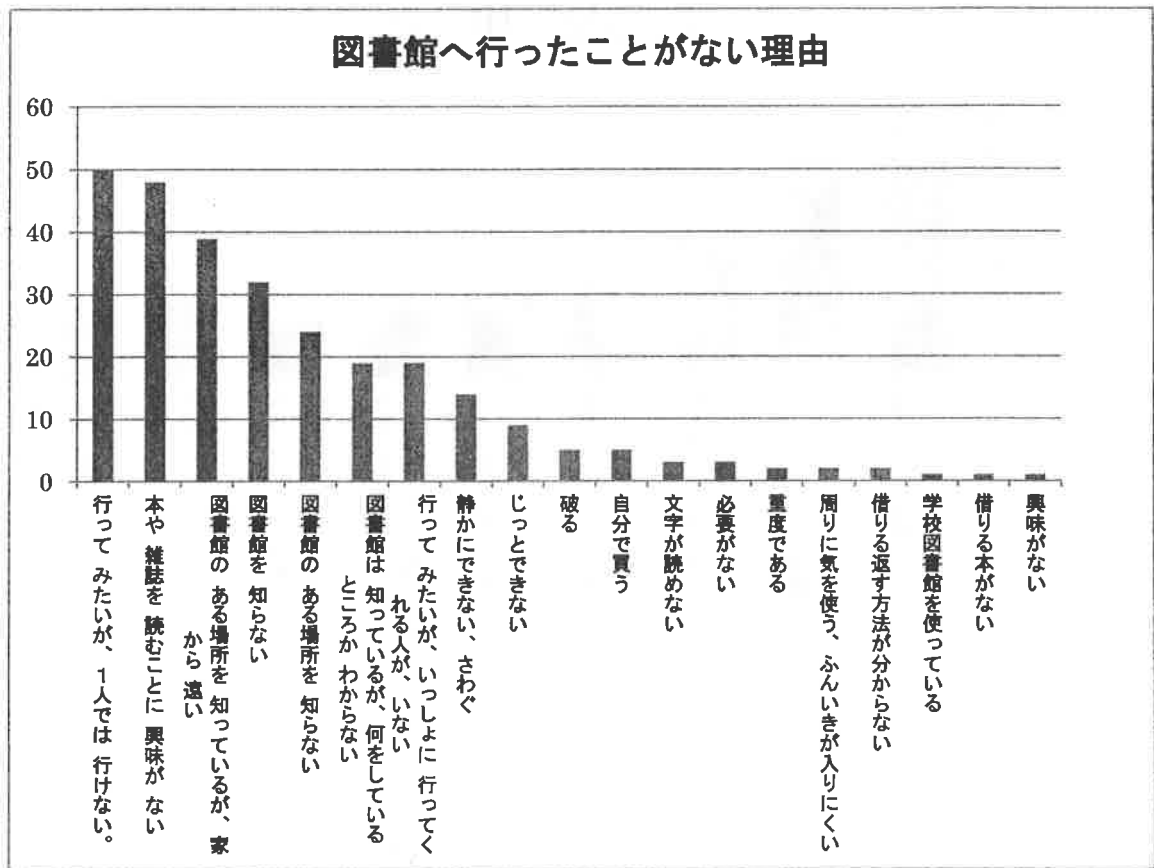


(6) 図書館への要求 (複数回答可)



利用経験のない人を対象に

(7) 図書館へ行ったことがない理由



全員を対象に

(8) 好きな本 (自由記述)

有効回答人数は 399 名であった。1 名ごとの回答をジャンル別に分類し、集計した。結果は、マンガ 118、絵本 99、乗り物 61 で、全数の 51% を占めた。ジャンル別では 27 種類に分類できた。

(9) 読みにくいわかりにくい本 (自由記述)

有効回答人数は 72 名であった。文字やレイアウトに関する回答では、文字ばかり、漢字が多い、文字が小さい等があった。本の種類では、小説、辞書、芸能、すべての本等という回答があった。

(10) こんな本がほしい (自由記述)

有効回答人数は 164 名であった。漢字にふりがながある本、わかりやすい文、絵が多い本、生活年齢に合わせた興味が続く本、音声で聞くことができる本、触れる本、噛んでも丈夫な本等があった。

4. まとめ

知的障害者自身（あるいはご家族、支援者）を対象にした公共図書館への要求と利用実態、本や CD、DVD についての好みやわかりにくさ等についての大規模調査は、はじめてのことであった。育成会のご協力により、回収率が 50%以上と、信頼性が高い調査結果となった。現在まで、公共図書館の障害者サービスの対象として知的障害者に十分な配慮がなかった原因の 1 つとして、当事者のニーズや利用実態が図書館側に伝わってこなかったことが挙げられる。細かな分析はこれからであるが、本調査で明らかになったことを、図書館に関係する学会や研究会で公表し、また研究報告書として公共図書館などへ配布する等により、現状の改善に努めたい。調査へのご協力に心から感謝します。

本調査は、JSPS 科研費 JP16K00453 の助成を受けて実施した研究成果の一部である。

